

## 緩和ケア普及啓発に関する活動報告書

提出日 2025年 3月 14日

### 緩和ケア普及啓発活動についての報告

実施団体	
特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発活動	
企画名	
令和6年度厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発活動 市民公開講座「生活を支える緩和ケア」	
事前告知、募集の方法について(ポスター、チラシの配布など)	
産経新聞東京23区版にて広告掲載、専用WEBサイトでの告知、本学会ホームページおよび緩和ケア.netでの告知、各種SNS(X、Facebook、Instagram、LINE)での告知、会員宛てメーリングリストでの案内、厚生労働省より都道府県担当部局へメール案内およびSNSでの周知、後援団体による会員宛てメーリングリストやホームページ等での案内、関東1都6県の国指定がん診療連携拠点病院等へのチラシ配布、東京都がん診療連携拠点病院・東京都がん診療連携協力病院および東京都内の緩和ケア病棟を有する医療機関へのチラシ配布、当会委員所属施設(7施設)へのチラシ配布	
当日の実施内容について	
日時(期間)	2025年2月16日(日)12時40分~16時30分
実施方法	プレセッション:ライブ配信、ポストセッション:会場開催 メインセッション:会場開催及びライブ配信、並びにアーカイブ配信 (※プレセッション及びメインセッションは事前申込制)
会場	PLATINUM STUDIO(プラチナスタジオ) [東京都港区白金一丁目17番3号NBFプラチナタワー16階]
ライブ配信	オンラインイベントプラットフォーム「EventIn」
アーカイブ配信	日本緩和医療学会公式YouTubeチャンネル [ <a href="https://www.youtube.com/user/kanwacare">https://www.youtube.com/user/kanwacare</a> ]
会場参加数	29名(事前申込者延べ50名)
ライブ視聴数	239名(事前申込者延べ290名)
具体的な実施内容: <プログラム> ■12:40~13:30 プレセッション ①がん患者と家族のオンライン交流集会 廣橋 猛氏(緩和ケア医・がん体験者)永寿総合病院 緩和ケア内科部長 がん診療支援・緩和ケアセンター長 ②がんリハビリ専門家がオンラインで教えます!あなたにぴったりの運動のコツ 添田 遼氏(理学療法士)鶴巻温泉病院 リハビリテーション部 慶應義塾大学大学院 医学研究科 医学研究系専攻	

### ③こころの健康を保つために

齋藤 円 氏（精神科医）市立ひらかた病院 精神科部長

畑 琴音 氏（公認心理師）早稲田大学 人間科学学術院 助教

### ④いつまでも、食べることを楽しみたい！～管理栄養士に聞く「がんと食事」～

千歳 はるか 氏（管理栄養士）国立がん研究センター中央病院 栄養管理室 栄養管理室長

尾阪 咲弥花 氏（緩和ケア医）聖路加国際病院 緩和ケア科 部長

#### ■13：30～13：35 開会のあいさつ

日本緩和医療学会 委託事業委員長 下山 理史 氏

#### ■13：35～14：05 メインセッション1【緩和ケアはいつから必要？】

モデレーター：木村 尚子 氏（緩和ケア医）済生会横浜市南部病院 緩和医療科 副部長

登壇者：下井 辰徳 氏（がん治療医）国立がん研究センター中央病院 腫瘍内科 医長

登壇者：若尾 直子 氏（がん体験者）特定非営利活動法人がんフォーラム山梨 理事長

#### ■14：05～14：15 休憩

#### ■14：15～14：45 メインセッション2【あなたの「伝えたいこと」、医師にどう伝える？】

モデレーター：畑 琴音 氏（公認心理師）早稲田大学 人間科学学術院 助教

登壇者：尾阪 咲弥花 氏（緩和ケア医）聖路加国際病院 緩和ケア科 部長

登壇者：藤澤 陽子 氏（看護師）千葉大学医学部附属病院 看護部 がん看護専門看護師

登壇者：山田 裕一 氏（がん体験者）日興アセットマネジメント株式会社 グローバル人事

企画部

#### ■14：45～14：55 休憩

#### ■14：55～15：25 メインセッション3【痛みが強くても自宅で過ごせる？】

モデレーター：岡本 明大 氏（緩和医療専門薬剤師）三重大学医学部附属病院薬剤部 副薬剤部長

登壇者：坂本 はと恵 氏（社会福祉士）国立がん研究センター東病院 サポートイブケアセンター副センター長

登壇者：大津 裕佳 氏（緩和ケア認定看護師）三菱京都病院 看護部

登壇者：廣橋 猛 氏（緩和ケア医・がん体験者）永寿総合病院 緩和ケア内科部長 がん診療支援・緩和ケアセンター長

#### ■15：25～15：30 閉会のあいさつ

日本緩和医療学会 緩和ケア普及啓発WPG 員長 尾阪 咲弥花 氏

#### ■15：30～15：40 休憩

#### ■15：40～16：30 ポストセッション

### ①がん患者と家族の交流集会

廣橋 猛 氏（緩和ケア医・がん体験者）永寿総合病院 緩和ケア内科部長 がん診療支援・緩和ケアセンター長

### ②がんリハビリ専門家が直接教えます！あなたにぴったりの運動のコツ

添田 遼 氏（理学療法士）鶴巻温泉病院 リハビリテーション部 慶應義塾大学大学院 医学研究科 医学研究系専攻

### ③知っておきたい「くすり」の話

岡本 明大 氏（緩和医療専門薬剤師）三重大学医学部附属病院薬剤部 副薬剤部長

#### ④みんなどうしてる？がんとお金、仕事のこと

坂本 はと恵 氏（社会福祉士）国立がん研究センター東病院 サポートケアセンター副センター長／黒田 ちはる 氏（看護師・ファイナンシャルプランナー）一般社団法人患者家計サポート協会 代表理事

#### <展示他>

- ・ 掲示物 : オレンジポスター・ブルーポスター・レッドポスター等の掲示
- ・ 動画上映 : 令和4年度に作成したマンガ動画の上映
- ・ 緩和ケア個別相談（事前申込制）
  - : 会場にて 12:40~13:30 に、オンラインにて 15:40~16:30 に実施
  - ※会場参加数：5席（事前申込5席）、オンライン参加数：2席（事前申込5席）

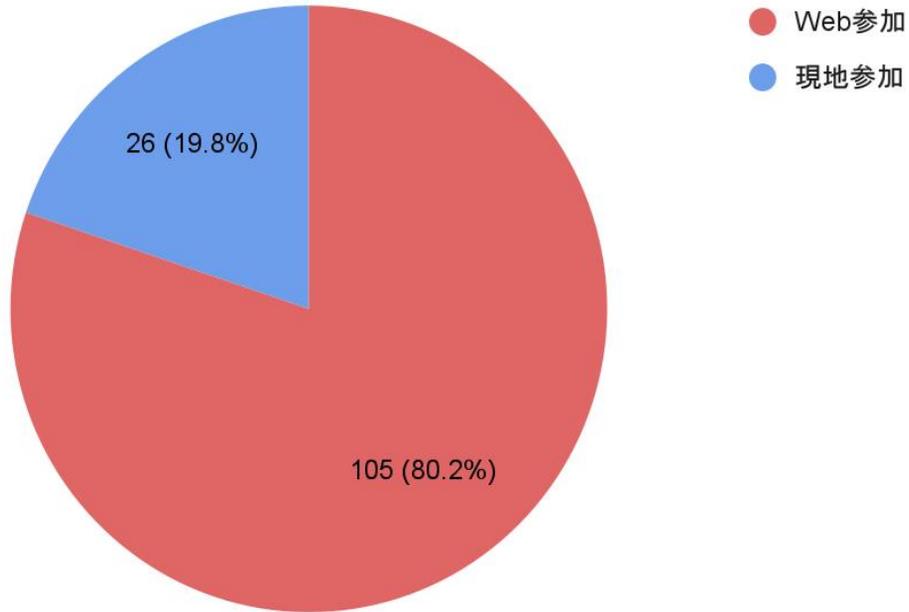
#### 当日の様子



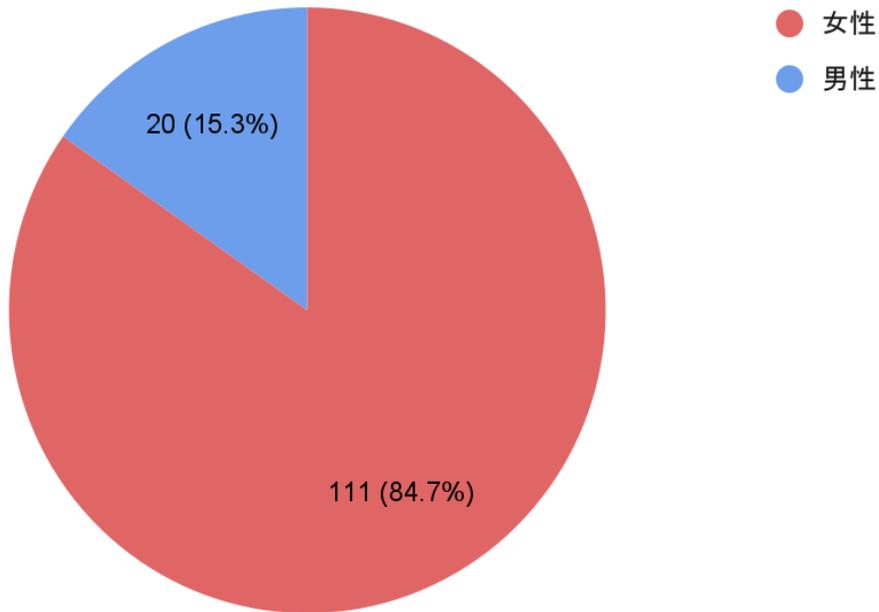
# -アンケート結果①-

## 1.あなたのことを教えてください

参加方法  
131件の回答



性別  
131件の回答

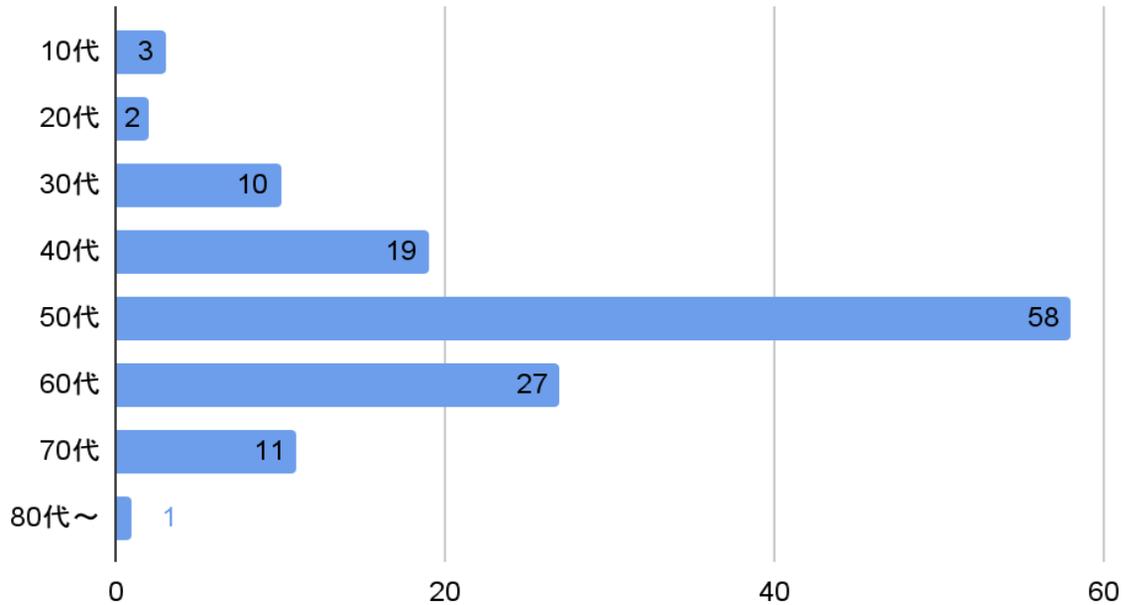


## -アンケート結果②-

### 1.あなたのことを教えてください

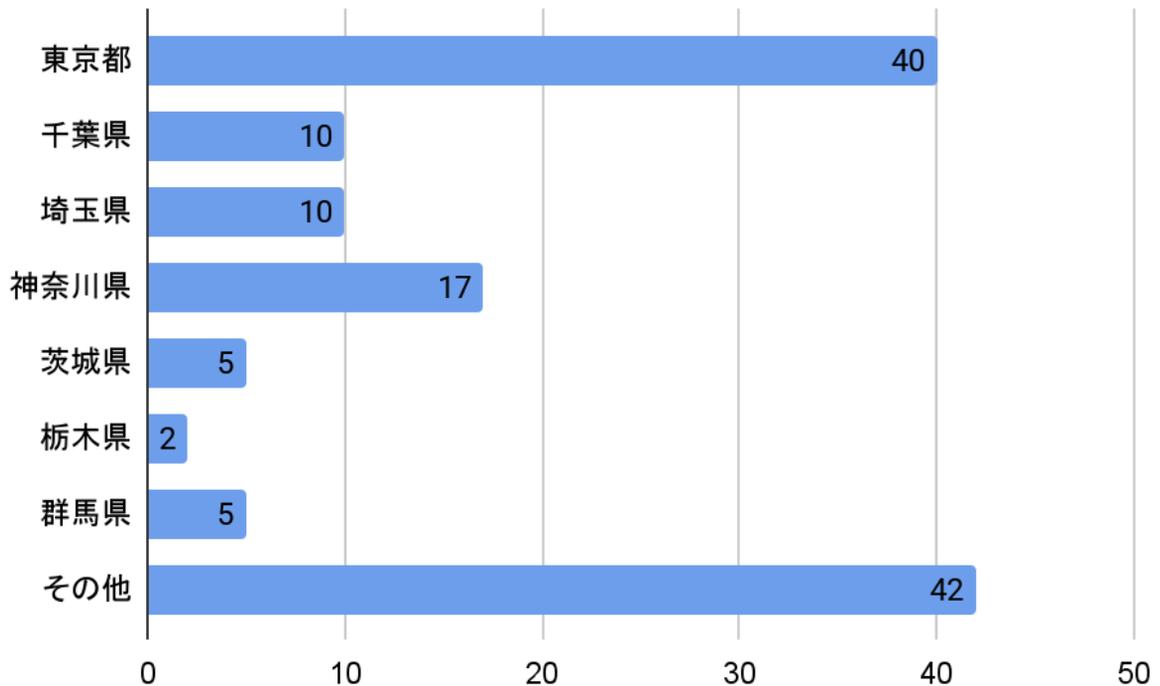
#### 年代

131件の回答



#### 居住地

131件の回答

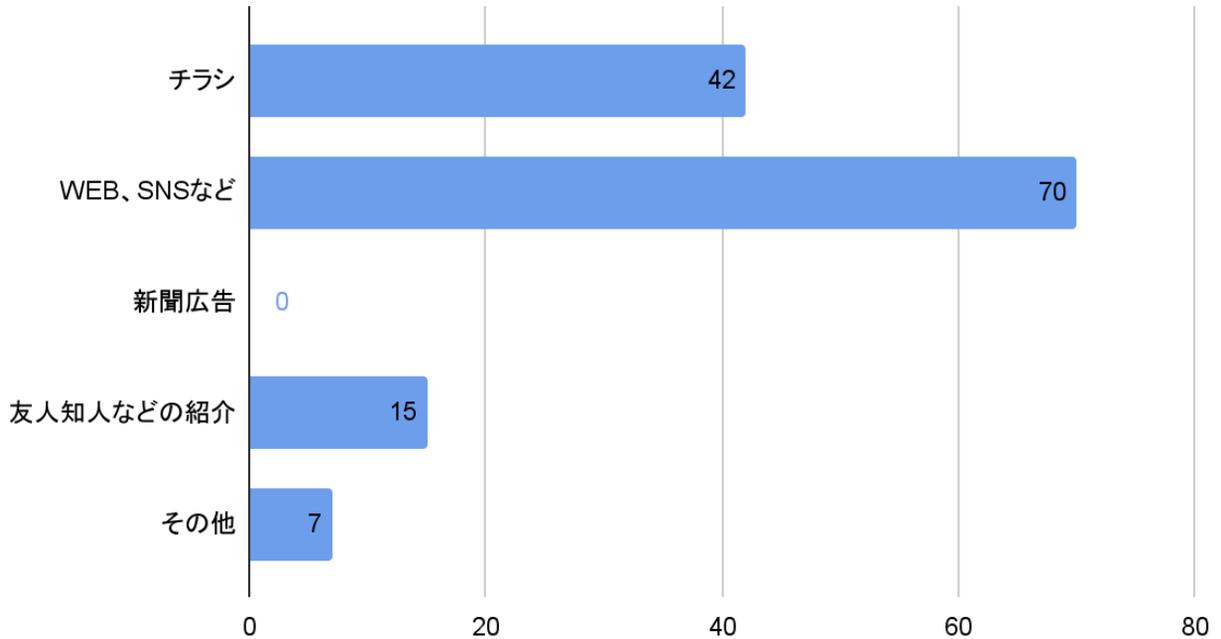


# -アンケート結果③-

## 1.あなたのことを教えて下さい

本日の市民公開講座はどのように知りましたか？(複数回答可)

134件の回答



### その他

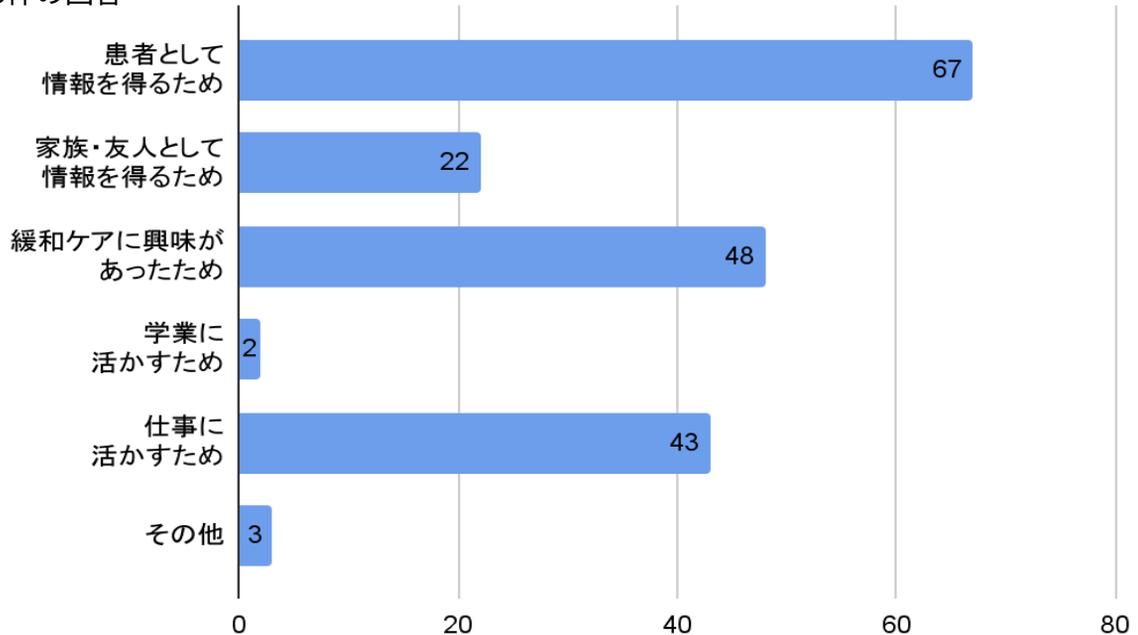
12件の回答

- ・ 廣橋先生のX (4)
- ・ ヴォイシー (2)
- ・ 病院の緩和ケア科
- ・ がんサポーターズケア学会からの告知
- ・ 横浜市南部病院のLINEで教えて頂きました
- ・ 三菱京都病院のホームページ
- ・ 肺がん患者会からの案内
- ・ 行政からの案内

# -アンケート結果④-

## 1.あなたのことを教えてください

市民公開講座に参加された理由をお聞かせください（複数回答可）  
185件の回答



仕事に活かすため（職業をお聞かせください）  
36件の回答

- ・看護師(11)
- ・訪問看護師
- ・訪問診療クリニック看護師
- ・緩和ケア認定看護師
- ・元緩和ケア認定看護師
- ・医師(3)
- ・在宅医
- ・薬剤師(2)
- ・医療ソーシャルワーカー(2)
- ・フリーライター
- ・医学物理士
- ・医療コンサルタント（在宅医療専門）
- ・医療相談員（看護師）
- ・介護支援専門員
- ・管理栄養士
- ・厚労省、NSC
- ・作業療法士
- ・心理士
- ・療養施設介護士
- ・鍼灸師
- ・会社員
- ・人事労務

その他  
4件の回答

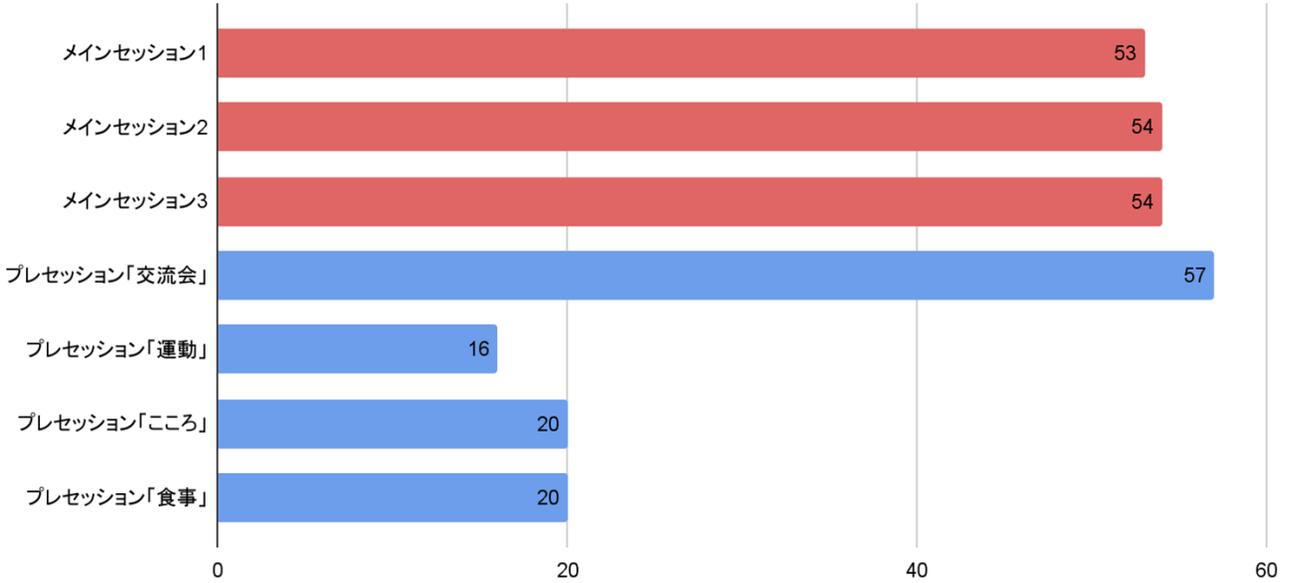
- ・患者としてのさまざまな思い、考え方
- ・ピアサポート活動に活かすため
- ・在宅リハビリテーション、薬剤師へ情報提供を行うため
- ・実母を5年前に膵caで看取って家族側として興味を感じたため

# -アンケート結果⑤-

## 2.市民公開講座について教えてください

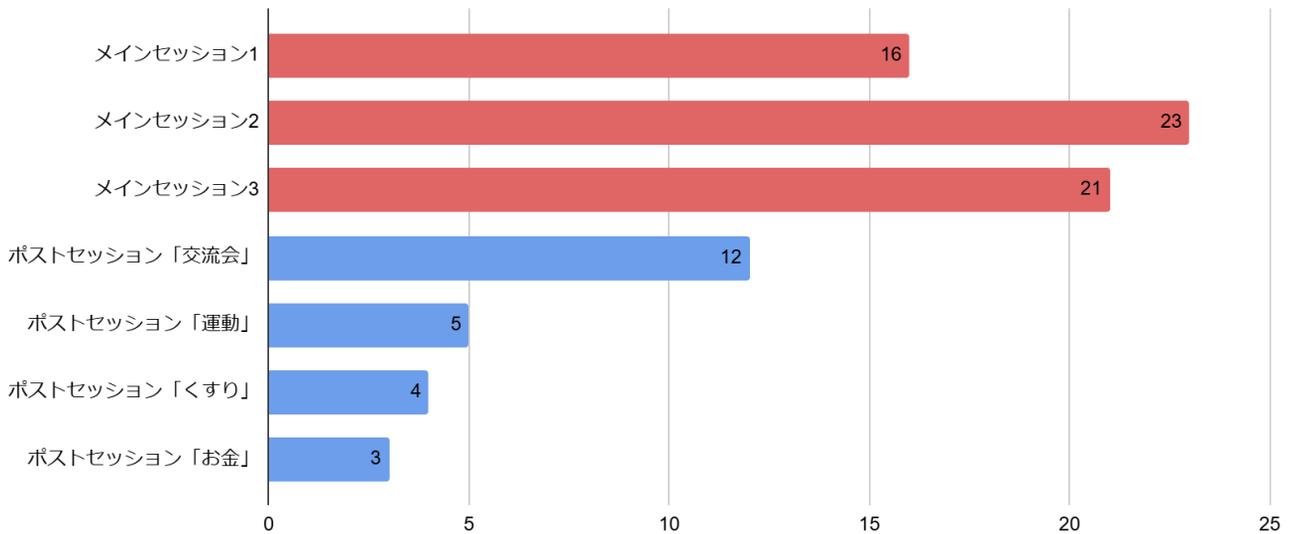
【Web】どのテーマに興味を持たれましたか？（複数回答可）

274件の回答



【現地参加】どのテーマに興味を持たれましたか？（複数回答可）

84件の回答

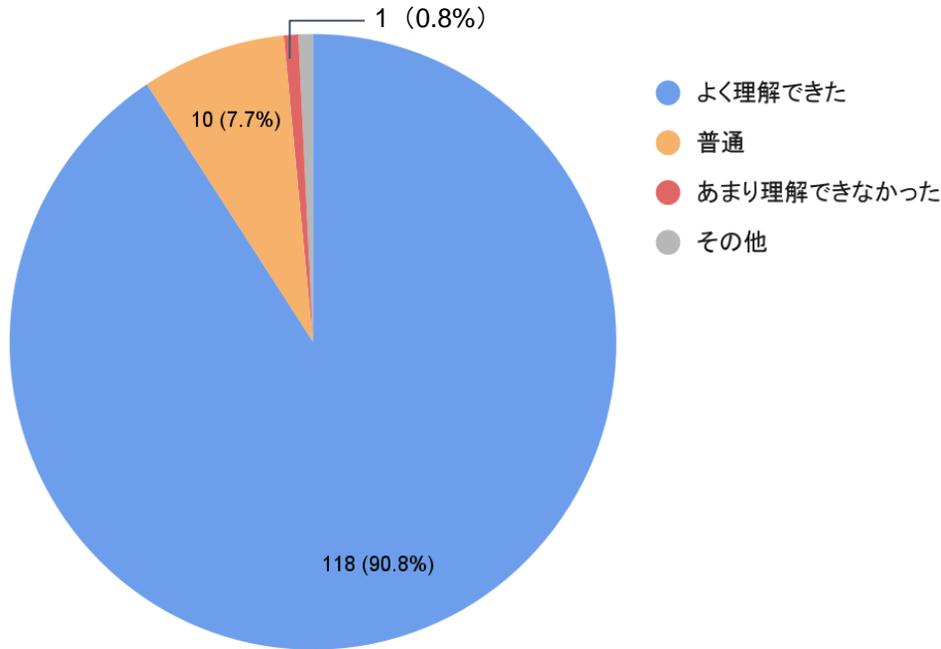


## -アンケート結果⑥-

### 2.市民公開講座について教えてください

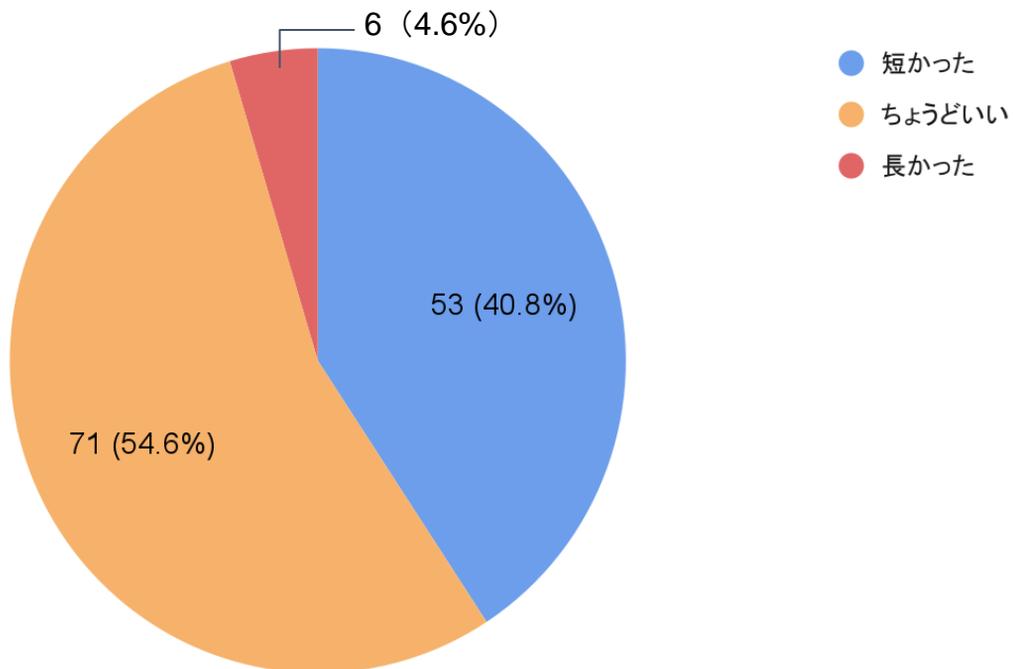
本日の市民公開講座の内容はいかがでしたか？

130件の回答



本日の市民公開講座の講演時間はいかがでしたか？

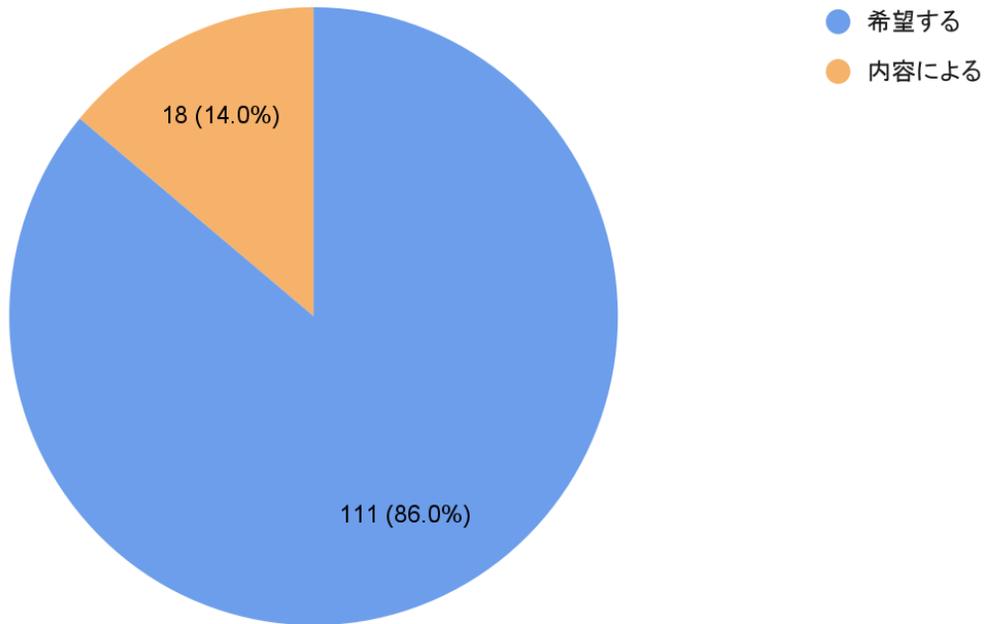
130件の回答



## -アンケート結果⑦-

### 2.市民公開講座について教えてください

今後、緩和ケアに関するイベントや講座があれば参加を希望されますか？  
129件の回答



# -アンケート結果⑧-

## 2.市民公開講座について教えてください

よろしければ本日の感想や、今後の市民公開講座に向けたご意見をお聞かせください。

### 【Web参加】27件の回答

■訪問診療クリニックの看護師として業務しています。

セッション1で、患者様の立場からは緩和ケアが必要な状況から解放されたい、緩和ケアのことを考えないで過ごしたいと考えておられるというお話がありました。「緩和ケア科」を掲げているクリニックの方が患者様ご家族がご安心頂けるかなと考えていましたが、患者様ご家族によってはみたくないものを見た、こわさを感じる方もおられるのかもおられるのかもしれないとはっとさせられました。本日の講座に参加させて頂き、大変勉強になり、大切な気づきを得ることができました。

■参加の機会をいただきありがとうございます。

特にメインセッション2の、患者の伝え辛さや、現場でのそのことについての捉え方、改善に対する思いのやりとりに、共感を感じました。

■日々クリニックで看護する中、がんを患い通院されている患者様もおられます。少しでも患者様の辛さに気づき、緩和ケアが必要な方に情報提供できるように、寄り添えるようにつとめていきたいと感じました。

又、母が肺がんステージ3の診断を受け、今後在宅で過ごしていくためにどのような準備が必要か、早期からの準備が大切であること、がんばり過ぎないこと参考にしていけたらと思います。

ありがとうございました。

■実家の母がガンになったばかりで、特に毎日の食事面が心配だったので、プレセッションで聞いた管理栄養士の方のいろいろなためになるお話やサイトの紹介がとてもよかったです。

ネットには情報が溢れすぎてどれを信じたらよいか悩むことも多いので、今後も参考になるところがあれば具体的に教えていただけたらありがたいです。

■アンケートで多くの方の意見もわかり、オンラインでも聴講でなく参加型で学びも深まったと感じます。

先生方のお優しい笑みや穏やかな口調も印象的で、相談の間口が広がるように思います。

■医療者の皆さんが、熱いお気持ちを持って携わってくださっているのがわかり、本当にありがたいと思いました。今日のお話をもとに、患者さんやご家族に、経験者家族としてアドバイスしていけたらと思います。

家族が治療を続けられ、最後まで良い時間を過ごせたのは緩和ケアのおかげなので、一般の方にお伝えしていきたいです。

■ライブ配信だけでなく、視聴出来たら…時間が長いので、後日セッション毎に視聴出来ると良かったです。

良い内容でしたが疲れてしまった。

■患者同士が話が出来る場を作っていただきたいです。

■告知を受けた患者はもちろんですが、未病の市民に緩和ケアを知って欲しい。25年前に肺がんで「がん」と出会い、5年前と2年前に両乳がんを経験し、Self Help Groupや個人的に友人をサポートしてきましたが、ずっと思っていることは、「病気になる前にがんや特に緩和ケアについて知って欲しい」ということです。患者に向けての啓発もままならない思いをお持ちでいらっしゃる医療者のみなさまにお願いするのは心苦しいのですが、わたしの25年間の思い？夢？です。

「がんと診断されたら緩和ケアにコンタクトできる」そんな時代が来るといいなと思いながら、お話をうかがいました。

本日はありがとうございました。来年もよろしく願いいたします。

■新しい試みや工夫がたくさんなされていて、関係者の皆様の努力に感謝いたします。

■日頃、通院で緩和医療をお願いしておりますが 今回《在宅医療》など知らないことを学ぶことが出来ました。

ありがとうございました。またこの様な機会を心待ちにしております。

■がん診療連携拠点病院のがんを取り扱う部署に勤務しておりますが、本公開講座の案内は届いておりませんでした。広く患者さんに周知したいものと思いましたが、予算等の余裕がございましたらご検討いただければ幸いです。各都道府県の緩和ケア部会のようなところには周知されていたかもしれませんが、もしそのようなところへの周知がされていなかったら、そこから各拠点病院等へおろしてもよいのではないかと思います。

■とても勉強になりました。

患者様の率直な意見を聞く事で、今後の活かしにしていきたいです。

これからもなかなか触れるのに躊躇われるような内容（相談しにくい・どこに相談すればいいのか）を誰でも気軽に聞ける講座が増えるといいと思います。

# -アンケート結果⑨-

## 2.市民公開講座について教えてください

- 得ることがたくさんあり、参加して良かったです。また来年も開催してください。
- 痛み緩和の放射線治療は、血液転移がんは対象でないと主治医から聞いてますが、どこもそうなのか知りたかったです。他、緩和ケアについても勉強になりました。参加させていただきまして本当に良かったです。ありがとうございました。
- 自施設でも市民公開講座を行っているため参考にしたいと参加させていただいた。slidoを用いて双方向型のセッションは興味深かった。システムを用いた難しさはあるだろうが、遠方からでも気軽に参加でき、臨場感が味わえた。ありがとうございました。
- 疑問や知らなかったことが判り有意義でした。
- セッションのテーマ、時間、内容、全てちょうどよかった
- 治療中の訪問看護の導入について、千葉県がんセンターのがん相談支援センターに相談したところ、「なんで必要なんですか」と被せ気味に詰められとてもショックでした。市民講座で得られる情報を、相談員が知らないことはとても怖いことだと思います。
- 緩和ケアについていろんな視点からお話があって参考になりました。各セッションが短めだったので、もっと知りたいと思いました。ありがとうございました。
- どうしてがんだけなのかなと思いました。全てのつらい病気の人に必要だと思います。からだもこころもケアを望んでいるのではないかと思うと、病名で分けられることに疑問を感じます。皆さん現場で親身になって仕事祖されている方ばかりで、そのような方々がいらっしやると知っただけでも心の支えになります。
- がんの家族を在宅で看取り、その後自身もがんを罹患しました。その経験に照らし合わせて本日の講座の内容はとても参考になりました。このような講座の存在が広く知られるとよいと思いました。
- がん以外にも、緩和ケアは使えると思っています。その情報も知りたいところです。
- アンケートを書く時間が短くて、途中で書けなくなった。
- 家族が末期がんを診断され、今後どのように接していけばよいか戸惑っていたため、とても勉強になりました。
- とてもわかりやすいお話、ありがとうございました。
- 興味のある講座を選択できるのが良かったです

### 【現地参加】23件の回答

- 開催ありがとうございました。
- 色々興味深いテーマで講演いただきより理解が深まりました。slidoの投票、意見表明のシステムは非常によかったと思います。またこういった機会があれば参加したいと思います。
- 大変すばらしく、わかりやすい講座でした。
- slidoなどのツールも使いながら相方向のわかりやすい進行で良かったです。
- 1つのセッションの時間を60分程度にしてもらえると、より深く知ることができると思った。
- 色々ためになりました。ありがとうございました。
- 経験豊富な方々にたくさんお話していただいて、大変有意義な時間でした。患者さんの声も広く伺うことができました。体験談集もすぐよかったです。
- 去年に続いて参加です。このように有益なシンポジウムを開催して頂いて感謝のみです。

# -アンケート結果⑩-

## 2.市民公開講座について教えてください

■ご本人やご家族に寄り添っていくにあたり、スタッフの心に余裕が持てる様な所も必要なのかなあと思っています。一生懸命なスタッフ程、なかなか立ち直れなかつたりしてしまい、心配

■昨年、患者枠で、神戸での「緩和医療とサイコオンコロジー」学会大会にも参加させて頂いた際、「診断時からの緩和ケア」のタイトルでのグループワークありましたが、その時点では、現実的には診断時から受けていた人は、ほぼ居なく、まだまだ、みんなが「迷子」な感じで時間終了でした。でも今日の講演で、「ほんとに、診断時から、自分をもっと声をあげて、相談していけば、緩和ケア・うけられるんだ!」と、実感できました!!! 他の方にも広く伝えたいです。

■廣橋先生との交流会、楽しく充実していました。色々お褒めの言葉ありがとうございました。まだまだ患者力を高めたいと思いました。

■この公開講座は友人に聞いて知ったが、きよてん病院では宣伝してなくて知らなかった

■わかりやすいお話しをありがとうございました  
緩和ケアはがんに特化したものでないことはもっと沢山の方、色々な方にしておいていただきたいです。がんの特化しているものだと思っている医療者の方もまだまだ多いのが実状ですね。又、患者側の工夫についても共有していただきたいです

■slidoを使って参加者のアンケートをリアルタイムで確認できたのは、おもしろかった。その結果の活かし方には、もう一工夫あっても良いかと思った。メインセッション2のSlido質問で「主治医に言いたいことが言えてないか?」のYes Noは判断に迷った。「ない」=No=Yes、で解釈が分かれることもあり、不正確な統計になる可能性があるのではないか。

■わかりやすく、お辛い状況の中、治療中の患者さんのお話しが聞け、元気が出ました。たくさんの方々のフォローで成り立っている「緩和ケア」を知る事が出来、もっともっと、勉強して、患者としても、どう生活して行ったら良いか考え直すキッカケを頂きました。

■チャット・slidoで意見が書けるのが良かったです。食事、運動、日常生活、お金、仕事と両立

■無料でこのような講座をひらいていただきありがとうございました、とても勉強になりました。

■体験者様のおはなしで「緩和ケアのことを考える、ということから解放される」ことが大切ということはあらためて、本当に大切だと思いました。訪問看護でがん末になると6-5/w訪問になることもあり、担当以外での訪問が増えるのですが、できるだけ担当者は同じ人が訪問できるようにしたいと思いました。

■来年も参加させて頂きたいです  
申込を忘れないために、チラシをがん相談支援センターにも置いていただければ有難いと思います

■本日の講座を受け、今回の講座に携わっている医療関係者の方の熱量と自分の周りの医療関係者との温度差をとても感じました。やはり病院は選ばないと思いました。

■演題を考えられた先生方、お疲れ様でした。人は実際に癌に患ってみないと医療のことも治療のことも緩和ケアのことなどなおさら興味も無く無感心であると思います。実際に家族や自分が病気になると、頭はパニックで病気の治療法や予後などはネットで調べますが、緩和ケアに正しい意味を理解してたどり着くのはまれです。  
今後も緩和ケアに対する普及啓発活動を応援します。

■本日はありがとうございました。私も事務側から医療サポートしていますが「緩和=がん」というイメージが強く、様々な疾患で辛い思いをしている人にとって、もっと緩和への認識が広まることを願います

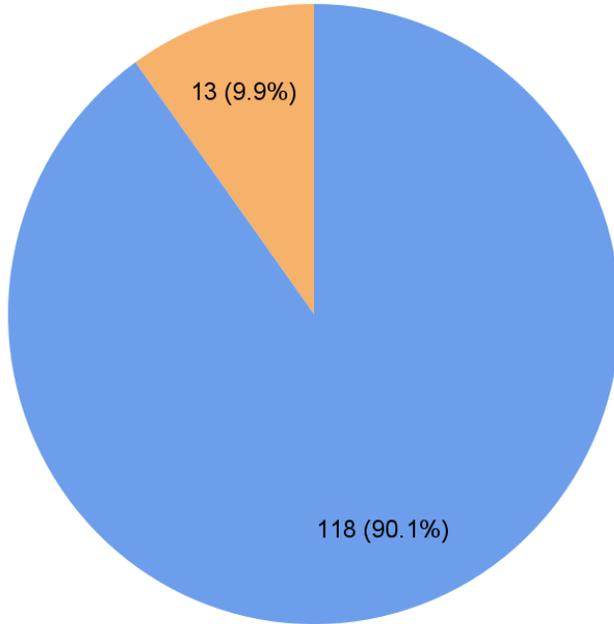
■結論らしい結論かです、いろんな意見が出ただけで終わってしまった感がありました。  
がん以外の症状で苦しんでいる方々への緩和ケアについても、ふれてあげたほうが・・・  
「早期の緩和ケア」「がんと診断されてからの緩和ケア」と言いながら、緩和ケア病棟の入院はBSCになってからでないと受け入れない病院がほとんどという矛盾はどうすればよいのか?

# -アンケート結果⑪-

## 3.緩和ケアの認識について教えてください

「緩和ケア」という言葉をご存知でしたか？

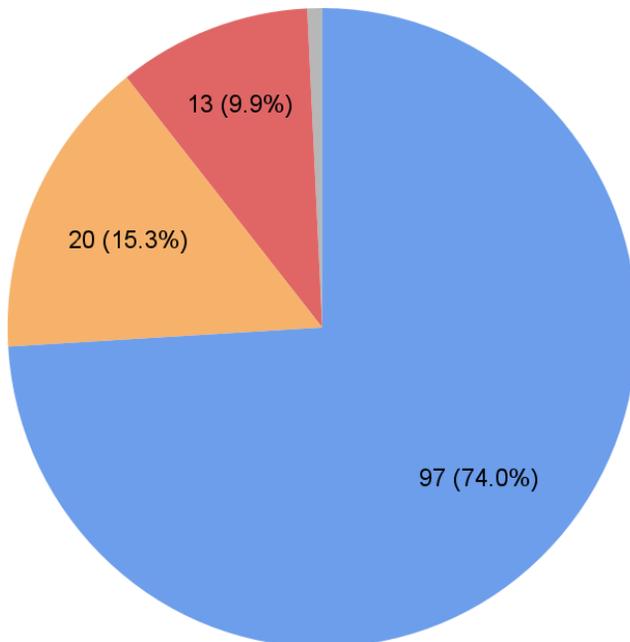
131件の回答



- 言葉も内容も知っていた
- 言葉は聞いたことがあったが内容は知らなかった

緩和ケアと聞いてどのような印象を受けますか？

131件の回答



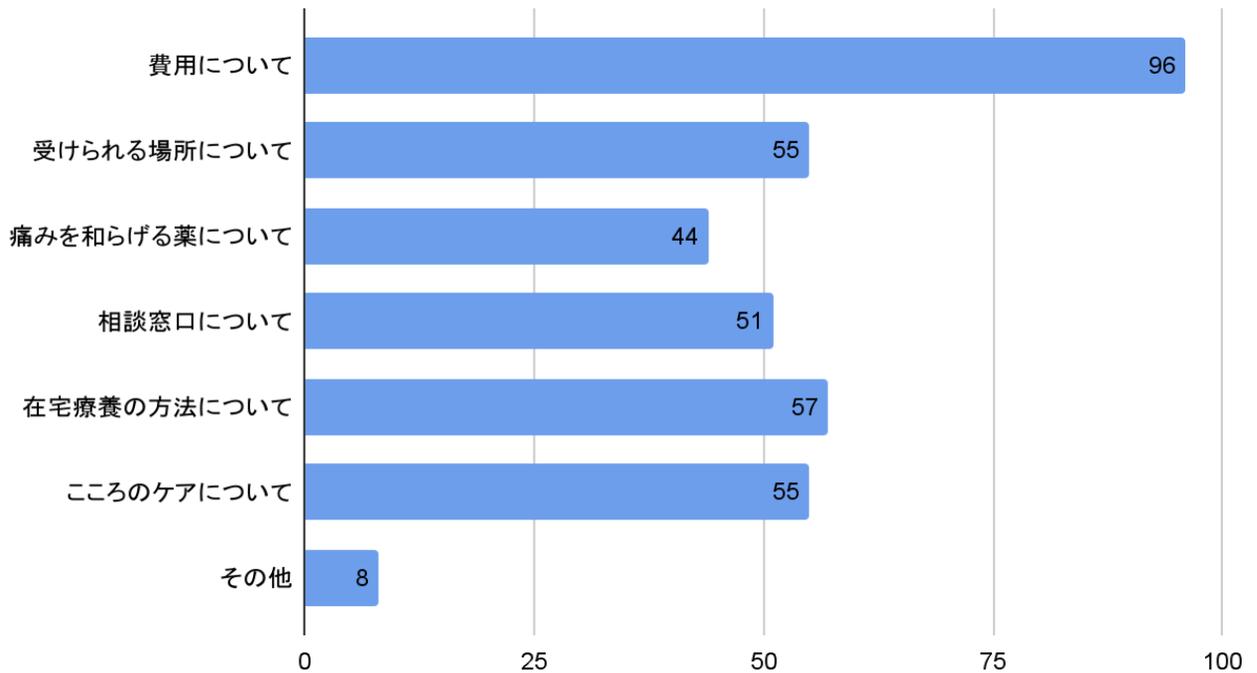
- がんと診断された時から受けるもの
- がん治療と一緒に受けるもの
- 終末期になってから受けるもの
- 分からない

## -アンケート結果⑫-

### 3.緩和ケアの認識について教えてください

緩和ケアについてどのような情報を知りたいですか？（複数回答可）

366件の回答



#### その他

7件の回答

- ・在宅緩和ケアの現状(自分の地域で受けることはできますか)
- ・アロマ、運動など日常でできるケアの領域について手厚く入れてほしい。  
また終末期の精神的ケア、家族ケアについても触れてほしい
- ・がん以外の病気に対する緩和ケアの実際
- ・自分の住む地域の在宅緩和ケア医
- ・痛み和らげるための放射線治療についてです。
- ・一人暮らしの高齢の母が在宅で緩和ケアを受ける、という選択肢があるかどうか知りたかったです。  
また、希望どおりの緩和ケア病院や在宅医が見つかったとして、  
その方たちにどうやってサービスを求めていけばいいのか、知りたかったです。
- ・その病院で、いつまでどんな状況まで受けられるのか

## -アンケート結果⑬-

### 4.緩和ケア個別相談に参加された方にお伺いします

#### 緩和ケア個別相談の感想をお聞かせください

4件の回答（いずれも現地参加）

- 主治医に現時点では尋ねにくいことも聞くことができ、勉強になりました。  
またこのような機会があるといいと思います。
- 不安に思っていたことを相談できてよかったです。  
今まで通りのことをして考えていけばよいのもわかりました。ありがとうございました。  
やはりつながりは大切なんだとわかりました
- 2023、9月に大腸ガンを発症、入院・手術を経て、現在に到っております。  
川崎市の「関東労災 病院」にてお世話になり、ガン相談センターの方より、  
労災病院で行なっているガン患者さんの集い⇒「オレンジ会」に参加させて頂いております。  
退院後すぐに開始した化学療法の副作用等、辛く不安な半年間の治療を、「オレンジ会」に参加させて  
頂いた事で、「一人ではない」と感じられ無事にのり切る事が出来ました。  
「緩和ケア」も「オレンジ会」にて初めて知り、私にとっては有意義な事でした。  
今回はもっと深く知る事が出来、感謝しております。
- 緩和ケア受診対象か否かについて、御相談させて頂きました。この様な機会はとても有意義だと  
感じました。ありがとうございます。

# 生活を支える緩和ケア

緩和ケアは、がんと診断されたときから行う、身体的・精神的・社会的な苦痛を和らげるためのケアです。  
あなた自身や大切な人のために、緩和ケアについて知りましょう。

2025年2月16日(日)

【時間】12:40~16:30

【メインセッション会場受付開始】12:30~

【会場】PLATINUM STUDIO  
(プラチナスタジオ)



## 本日のプログラム

12:40~13:30 ▶ プレセッション(オンライン開催)

13:30~13:35 ▶ 開会のあいさつ 日本緩和医療学会 委託事業委員長 下山 理史 氏

13:35~15:25 ▶ メインセッション

### 【メインセッション1 13:35~14:05】 緩和ケアはいつから必要?

- モデレーター:木村 尚子 氏(緩和ケア医)済生会横浜市南部病院 緩和医療科 副部長
- 登壇者:下井 辰徳 氏(がん治療医)国立がん研究センター中央病院 腫瘍内科 医長
- 登壇者:若尾 直子 氏(がん体験者)特定非営利活動法人がんフォーラム山梨 理事長

緩和ケアは「敷居が高い」「まだ必要ない」と思っていないですか?  
がんと診断されてから、生活で困っていることや我慢していることがあれば緩和ケアの出番です。  
当日はがん治療医の先生を交えて、ご参加のみなさまと一緒に、緩和ケアについて考えてみたいと思います。

14:05~14:15 休憩

### 【メインセッション2 14:15~14:45】 あなたの「伝えたいこと」、医師にどう伝える?

- モデレーター:畑 琴音 氏(公認心理師)早稲田大学 人間科学学術院 助教
- 登壇者:尾阪 咲弥花 氏(緩和ケア医)聖路加国際病院 緩和ケア科 部長
- 登壇者:藤澤 陽子 氏(看護師)千葉大学医学部附属病院 看護部 がん看護専門看護師
- 登壇者:山田 裕一 氏(がん体験者)日興アセットマネジメント株式会社 グローバル人事企画部

からだのつらさを和らげるには、医師とうまくコミュニケーションをとることも大事です。  
みなさんの工夫やコツを分かち合ってみませんか?

14:45~14:55 休憩

### 【メインセッション3 14:55~15:25】 痛みが強くても自宅で過ごせる?

- モデレーター:岡本 明大 氏(緩和医療専門薬剤師)三重大学医学部附属病院薬剤部 副薬剤部長
- 登壇者:坂本 はと恵 氏(社会福祉士)国立がん研究センター東病院 サポートケアセンター副センター長
- 登壇者:大津 裕佳 氏(緩和ケア認定看護師)三菱京都病院 看護部
- 登壇者:廣橋 猛 氏(緩和ケア医・がん体験者)永寿総合病院 緩和ケア内科部長 がん診療支援・緩和ケアセンター長

在宅医療や緩和ケア病棟の過ごし方、利用できるリソースを知り、みなさんが自分らしく過ごせる療養場所を選択するための一助となればと思います。

15:25~15:30 ▶ 閉会のあいさつ 日本緩和医療学会 緩和ケア普及啓発WPG員長 尾阪 咲弥花 氏

15:30~15:40 休憩

15:40~16:30 ▶ ポストセッション(会場のご案内は、裏面をご確認ください)

※スケジュールは、都合により一部変更になる可能性があります。  
※当日の様子は、会場参加される参加者の個人情報保護には十分配慮し、撮影及び動画配信を行い、主催者のホームページ等で公開いたします。予めご了承ください。

● **ポストセッション(会場参加)** 事前申し込みは不要です。ご興味のある方はぜひご参加ください。途中参加も可能です。

**A** **がん患者と家族の交流集会**

**廣橋 猛 氏**(緩和ケア医・がん体験者)

永寿総合病院 緩和ケア内科部長  
がん診療支援・緩和ケアセンター長

がんと付き合っているのはあなただけではありません。「他の人はどうしているの?」「何に困っているの?」「ぶっちゃけ緩和ケアのことどうしてる?」がんを体験した緩和ケア医と一緒に語り合ってみませんか。聞くだけ、見るだけでも大歓迎。ぜひお茶を片手にお立ち寄りください。

**B** **がんリハビリ専門家が直接教えます! あなたにぴったりの運動のコツ**

**添田 遼 氏**(理学療法士)

鶴巻温泉病院 リハビリテーション部  
慶應義塾大学大学院 医学研究科 医学研究系専攻

がんリハビリ専門家が、一人ひとりに合った無理なく続けられる運動法を指導。自分のペースで体力回復を目指し、運動の種類だけではなく、運動を続けるためのちょっとしたコツをお伝えします。

**C** **知っておきたい「くすり」の話**

**岡本 明大 氏**(緩和医療専門薬剤師)

三重大学医学部附属病院薬剤部  
副薬剤部長

医療用麻薬をはじめ、「くすり」の正しい情報をわかりやすく解説します。また、薬局などで受けられるサービスや「くすり」を飲むときの工夫など、明日から活用できる情報を薬剤師が伝授します!

**D** **みんなどうしてる? がんとお金、仕事のこと**

**坂本 はと恵 氏**(社会福祉士)

国立がん研究センター東病院  
サポーターケアセンター副センター長

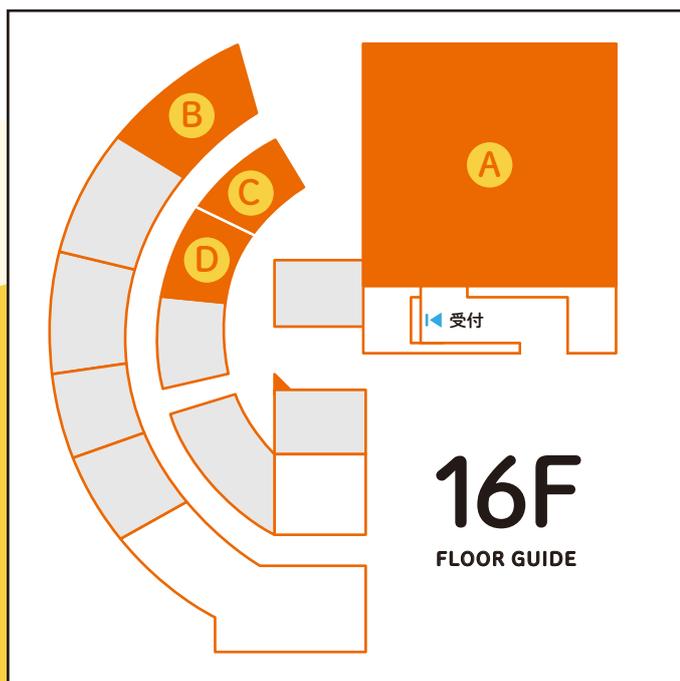
**黒田 ちはる 氏**(看護師・ファイナンシャルプランナー)

一般社団法人患者家計サポート協会 代表理事

「長期的な医療費の負担が続いていて家計のことが心配」「自分に当てはまる制度がどれかわからない」「どこに相談したらいいのだろう」という時に、是非活用していただきたいファイナンシャルプランナーやがん相談支援センター。

当日は、二人の専門職から皆さんの療養生活に役立つヒントを解説したいと思います。是非お気軽にお立ち寄りください。

● **各フロアについて**



主催：日本緩和医療学会

後援：東京都、全国がん患者団体連合会、日本緩和医療薬学会、日本がん看護学会、日本がんサポーターケア学会、日本癌治療学会、日本サイコオンコロジー学会、日本在宅医療連合学会、日本循環器学会、日本心不全学会、日本プライマリ・ケア連合学会、日本ペインクリニック学会、日本臨床腫瘍薬学会、日本老年医学会、日本放射線腫瘍学会、日本麻酔科学会、日本臨床腫瘍学会、日本ホスピス緩和ケア協会、日本ホスピス・在宅ケア研究会、日本死の臨床研究会



特定非営利活動法人  
**日本緩和医療学会**  
Japanese Society for Palliative Medicine

【本件に関するお問合せ】

令和6年度厚生労働省委託事業  
緩和ケア普及啓発活動「市民公開講座」事務局  
E-Mail : kanwacare@vcube.co.jp